

加茂名南学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○自分で考え、判断し、行動する児童を育成する授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

【各校の取組状況の把握について】

--

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けようとする意欲が育ち、集中して学習に取り組んでいる。</p> <p>●当該学年で身に付けておくべき知識・技能が十分定着しておらず、学力の二極化も見られる。語彙数が少なく、問題を読み取る力や学習したことを言葉や文章で表現したり生活に生かしたりできる力の育成が課題である。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。</p> <p>・知識・技能の習得のために、適切に学習用具(ノート・ものさし・タブレット端末等)が活用できる。</p> <p>・読書を楽しみ、文章を正確に読み取ることができる。</p>	<p>・個に合わせて、ドリルやタブレット端末を活用して、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くようにする。</p> <p>・既習事項を用いて課題を解決する場面を増やす。</p> <p>・朝の活動の時間や隙間の時間を活用し、小テストや音読・読書タイムを実施し、基礎学力の定着を図る。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○ペア、グループ学習での話し合いでは、自分の考えを発言できる児童が増えてきた。</p> <p>●自分の考えを分かりやすく表現したり、まとめたりすることが苦手である。</p>	<p>・相手の話を最後まで聞くことができる。</p> <p>・話型や手引き等を活用し、目的に応じて、自分の考えと比較しながら聞いたり、自分の考えをまとめたり伝えたりすることができる。</p> <p>・一人一人が自信をもって、自分の考えを表現することができる。</p>	<p>・ペアトークやグループ学習を効果的に取り入れ、互いの考えを聴き合い、共有・交流できるような場面・時間を確保する。</p> <p>・児童同士の信頼関係づくり、認め合える仲間作りを行い、表現しやすい環境作りに努める。</p> <p>・児童が自信をもって表現できるように、ヒントカードを用いたり、言葉を補ったりする等、手立てを講じる。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○意欲的に学習し、与えられた課題に真面目に取り組む、自分の課題を伝えようとする児童が多い。</p> <p>●つまずいても最後まで諦めず取り組むことを諦めたり、受け身になったりする児童もいる。</p>	<p>・一人一人が毎時間の学習に目標をもち、積極的に授業に参加している。</p> <p>・「次はこんなことを学びたい。」という意欲をもって、授業や家庭学習に取り組む。</p>	<p>・前時のふり返りから本時の授業に繋げたり、体験活動やグループ活動を取り入れたりし、「わかる」授業を充実する。研修を行い、教員の授業力の向上を図る。</p> <p>・家庭学習の手引きや進め方を活用し、家庭と連携しながら家庭学習・読書活動の習慣化を図る。</p>			

令和6年度 学力向上ロードマップ

